

桜 守

(広報誌第18号 令和4年度)

公益財団法人

吉野山 保勝会

ご挨拶(公益財団法人)吉野山保勝会 理事 椿原良憲

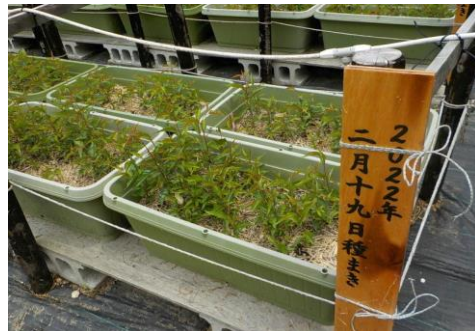


平素は、公益財団法人吉野山保勝会の活動に対しましてご支援賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。お陰様で、今年も全山を埋め尽くす満開の桜を見ることができました。「アーカイブス」という番組が吉野町ケーブルテレビにあります。先日、昭和45～46年頃の春、花見に訪れた人々を撮ったビデオを見る機会がありました(撮影:田辺博朗様)。因みに昭和45年といえば、大阪万博が開催された年で、アメリカのアポロが持ち帰った「月の石」が話題になりました。そんな時代の吉野山の春、鐘の鳥居から仁王門付近の狭い町中で渋滞する車・バス、その間を縫うように行き来する大勢の花見客…。真に日本人は桜を愛し、歌に詠み、桜花の下で弁当を広げて楽しんできました。私も高遠城址や根尾の淡墨桜など、各地の有名な桜を見てきましたが、やはり吉野の桜は特別なものです。古くは西行法師や豊臣秀吉の時代から憧れの地であった吉野の桜は、蔵王権現への寄進に始まり、地元の人々の手で大切に守り続けてきたものです。来春も、満開の山桜が世界中の人々を魅了するに違いありません。今年も、たくさんの桜苗が芽吹きました。ボランティアの皆様のおサクランボ拾いや、干し草敷き作業、桜守りによる日頃の適切な管理などによる成果です。新たな試みとして、千葉県の高田造園様ご指導のもと、桜山土壌改善作業を始めて7年、いよいよ成果が顕れてまいりました。吉野山の桜を守り、次世代に継承していくため、皆様のご支援ご指導をお願い申し上げます。(主な土壌改善場所は太閤花見塚です)

吉野山の白山桜が健全に育つように、景観保全の一環として、桜の根と根の間にミツバツツジを植樹いたしました。また、鹿の食害対策の為、ミツバツツジにネットをかぶせました。(花山)



吉野山保勝会では、吉野山の母樹より種を拾い、苗木を育てています。



五郎平茶屋にある母樹のサクランボ拾い。 令和4年度は約1,000本発芽しました。 苗の植え替え作業を行いました。(温泉谷育成圃) 現在合計2,700本を育成中。

現在 吉野山保勝会では、母樹より種を拾い 発芽させ 苗木を育成しております。吉野山保勝会としては、1,300年前から守り続けて来た吉野山の 白山桜を世界中に知っていただこうと、そして次の世代へ伝えていくため日夜保全に邁進しております。

今年の吉野山保勝会の作業の一部



大和ハウスボランティア 新小中一貫校「吉野さくら学園」 苗木を育てるための「干し草」を太閤花見塚土壌改善作業。 の畑に旧吉野小の苗を移植。刈取り干し場へ集めました。

桜基金に寄付を頂いた方々(順不同)

皆様ありがとうございました

大和ハウス工業株式会社様・アイテック株式会社様・株式会社グラセル様・妙法院五條覚照様・俳人協会関西支部様・株式会社南都銀行様・株式会社呉竹様・総本山金峯山寺様・プラハード株式会社様・株式会社大阪マルビル様・国際ソロプチミスト奈良一あすか様・ソロプチミスト奈良一万葉様・築山建材様・近畿大学附属小学校様・吉水神社様・柿の葉寿司ヤマト様・中嶋實男様・木村才一郎様・家郷義光様・山本和美様・横矢保夫様・吉野山旅館組合様・賛助会様・吉野山自治会員一同様・吉野山観光協会様

◇◇◇ 賛助会会員募集中 ◇◇◇

公益財団法人 吉野山保勝会 〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430

TEL:0746-32-1877 FAX:0746-32-1217 E-mail hoshokai@cap.ocn.ne.jp

URL: <http://www.hoshokai.yoshino.jp>

発行：(公財)吉野山保勝会 総務部